

埼玉県 Minjikyō Dayori

# 民児協だより

Your smile makes everyone happy

令和5年  
10月1日発行

No.174



写真／歓喜院聖天堂（提供：熊谷市）

## 目次

- 2p～3p … 部会活動報告—研修部会—
- 4p～5p … コロナ後の民生委員・児童委員活動のあり方
- 6p … 単位民児協活動紹介（杉戸町）
- 7p … 共同募金運動に協力しましょう！
- 8p … 埼玉県の国宝紹介（歓喜院聖天堂）、  
いなり寿司、主な予定、編集後記



県民児協  
ホームページも  
ご活用ください！



》》 <https://www.saitama-minjikyō.or.jp>

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。



### 地域版活動強化方策の

### 研修について

令和5年6月23日(金)、市町村民生委員・児童委員協議会の会長と事務局を含む81名が参加のもと、「地域版活動強化方策について」と題して研修会を実施しました。講師には高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の金井敏教授をお招きし、講義をしていただきました。

### ◆研修の趣旨(目的)

地域の実情を踏まえて地域住民に寄り添った活動のために、民間協で取り組む課題が整理され活動の方向性をみんなで見いだすことができる地域版活動強化方策を学ぶための研修を計画しました。

### ◆地域版活動強化方策の背景と目的

地域版活動強化方策は、地域の生活支援や子どもの福祉をより効果的に実現するために、民生委員・児童委員の役割と活動を充実させる必要があるという点にあります。

### ◆研修内容

#### 講師

高崎健康福祉大学健康福祉学部  
社会福祉学科 教授 金井 敏氏



### 1 地域版活動強化方策とは

全国民生委員児童委員連合会が10年間の活動方針として100周年活動強化方策を策定しました。

この全国的な方策を地域で展開するために、地域の実情をふまえた単位民児協ごとの活動強化方策を作成することが大切と考えられました。

### 2 地域版活動強化方策手引き作成委員会

①100周年活動強化方策の地域での展開は、トップダウンで良いのか。

②定例会で委員の声は受け止められているか。

③社会的孤立に対応するため、地域(定例会)での情報共有は行われているか。

④委員の経験年数が短く、民生委員活動は受け継がれているか。

という点について話し合われ、委員個人や単位民児協の情報を集約して地域の活動方針を作成することが必要と考えられました。そして、地域での作成を支援する「推進の手引き」が作成されました。



### 3 「地域版活動強化方策」の意義と留意点

#### (作成の意義)

民児協の中で情報を共有することで、仲間意識と継続意欲を高めることができると考えます。

ネットワークを拡大し、一人で抱え込まずに安心感を醸成することで、自主性と信頼を養うことができます。また、地域のサポート体制を整え、優先順位を決めて主体性を発揮します。



### <100周年活動強化方策の重点活動とは>

#### 重点1：地域のつながり、地域の力を高める。

笑顔で生活を送ることができる地域を創るために、人と人のつながりを強化し、地域の関係者と連携して地域で支え合う仕組みをつくる。

#### 重点2：課題を抱えた人々を支える。

課題を抱える方を早期に把握し適切な支援につなぐこと。また、必要な支援を提案し、民生委員・児童委員が地域のサービスを充実させる役割を果たす。

#### 重点3：民生委員・児童委員制度の保護と発展。

なり手不足や認知度低下に対処し、委員支援を強化し、地域の理解を広げながら制度を発展させる。

(作成の留意点)

一人ひとりの思いや考えを率直に表現し、状況を情報共有し、その内容について評価を求めず、作成の過程を重視することです。

このことから一人ひとりの思いを大切にしたい民児協活動方針となります。

4 「地域版活動強化方策」の作成の例

作成の手引きにあるワークシートA、B、Cを使って作業を進めることができます。

①ワークシートAでは、担当する地域の現状を把握します。例えば、地域の人口構成、教育状況、社会的な施策、地域資源など、関連するデータや情報を収集します。改めて調べたり、全ての項目に記入する必要はありません。実際に関わったことのある機関や団体を記入します。また、個人の考えや思いを記入します。

②ワークシートBでは、ワークシートAで収集した情報を基に、地域の課題や問題を洗い出します。例えば、社会的弱者支援、教育環境の改善、福祉サービスの充実など、具体的な課題領域を明確にします。20項目ありますが、1つ2

つの項目を選んで記入しましょう。活動の中から気になっている課題を記入しても構いません。

③ワークシートCでは、ワークシートBで特定した課題に対して具体的な活動計画や目標を設定します。

このように、ワークシートAでは地域の実情を把握し、ワークシートBでは課題を洗い出し、ワークシートCでは活動強化方策を具体化することで、民生委員・児童委員の活動の方向性や目標が明確になります。これにより効果的な実施と評価が可能となります。

この作成するまでの過程が大切です。一度に行うことは難しい場合、定例会で年間を通じて取り組んでも良いです。

なお、具体的なワークシートの内容は地域や目的によっては異なる場合があります。

◆今後の展望

活動強化方策として冊子等を作る必要はなく、民児協のスローガ

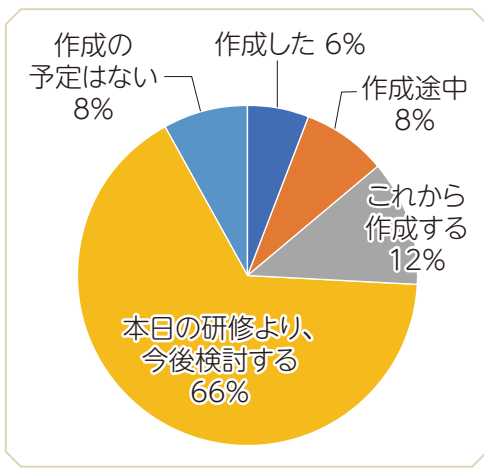


ンを作成したり、年間の事業を計画する際の討議に取り入れる等、委員一人ひとりが参画し、単位民児協の定例会が活性化されることを期待しています。

◆研修終了後のアンケート

参加者の約8割が今後に活かせる知識を得ることができたと回答されました。

また、市町村民児協における「地域版活動強化方策」の作成状況については、約6割強が本日の研修から検討すると回答されました。



◆これ以上に仕事が増えることに委員が理解してくれるか

◆必要性は感じているが時間的な問題がある

◆評価しなくて良いことで気持ちが悪くなる

◆少しずつできることから始めたい  
◆定例会の在り方について再度検討する必要性を感じた  
地域の状況を思い返して悩ましいことや、前向きなこと等、さまざまな意見や感想がありました。

◆研修会の動画を公開

本会ホームページに掲載しています。各市町村事務局にご確認ください。

◆今後の取り組み

地域のニーズ調査を通じて課題と要望を把握し、研修プログラムを作成します。具体的なトピックや目標を設定し、専門家や講師を招聘して参加者の能力向上を図ります。研修の内容やスケジュールを計画し、地域の福祉制度やコミュニケーションスキルなどの専門知識を活用します。これにより、民生委員・児童委員のスキルや知識の強化を促し、地域のニーズに合ったサポートを提供できると思います。

◆今後は市町村民児協、県民児協の役割についての研修も必要になってくると思います。

※「推進の手引き」：全民児

連ホームページに掲載





# コロナ後の

# 民生委員・児童委員活動のあり方

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられ、夏の風物詩である花火大会をはじめ、多くのイベントがコロナ前の開催規模に戻して開催されました。需要が高まる民生委員・児童委員活動ですが、各市町村での思いや工夫について4市町村民児協会長からご寄稿いただきました。

## 杉戸町

### コロナ禍を経て感じたこと

自粛せざるをえなかったコロナ禍の民生委員・児童委員活動ですが、やっと以前のような訪問活動ができるようになりました。

今から2年前に杉戸町民生委員児童委員協議会が発行した、「民児協だよりしあわせ」を読み返してみました。当時、各委員は活動に不安を感じながらできることを模索していたようです。

地域の方々との何気ない世間話や人生の先輩方のアドバイスを聞くのが楽しみだったと改めて感じましたこと。ヤングケアラーという言葉葉が出はじめ、ケアラーの人たち

がづらい生活を送っているのではないかと心配していること。心配事や困り事等の相談相手として関わっていた母子3人が訪ねてきてくれてうれしかったこと。コロナ禍で訪問ができない間に一人暮らしの方が亡くなってしまい、何もできなかった罪悪感があつたこと。近所の高齢者が運動不足と新型コロナウイルス感染症の不安から体調不良を訴えており心配なこと。各委員、それぞれの思いがあつたようです。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、自主的な民生委員・児童委員活動が可能となった今、じれったい思いで過ごしていた各委員が動き始めています。杉戸町民児協においては、この秋に4年ぶりの県外研修を実施します。この研修は委員同士の交流

も目的の一つです。今回の参加が初めての委員が多々いるため、私自身もとても楽しみにしております。杉戸町民児協は、様々な研修の実施再開をしながら、日頃の訪問活動に還元できればよいと思っております。

ウィズコロナの生活となり民生委員・児童委員活動も変わっていく中、地域の方々との繋がりは絶やすことの無いよう、自身の役割を全うする気持ちは持ち続けています。(大橋 登喜夫)

## 鶴ヶ島市

### 大切なのは見守りと

### 本人のSOS発信

思いもよらぬコロナ禍は、高齢者の生活に大きな変化をもたらした。

ました。外出の自粛や人との交流を断たれて心身両面の健康を害して施設に入所された方や、認知機能の低下などで要介護度が進んだ方などが見受けられました。

加速する高齢化に今こそ真剣に取り組む必要があります。地域ぐるみの見守り活動は必須です。加えて本人からのSOS発信を促すことも大切ですが、どこに発信するか知らない方が大勢います。高齢者に関するあらゆる相談の窓口である地域包括支援センターは、まだ耳慣れない人もいると思いますので、民生委員の訪問活動では、相談窓口を知ることには大きな支えになると考え、作成したチラシで連絡先などを伝えていきます。

子どもたちにおいても多くの面

で制限された学校生活は、成長期の心身に少なからず影響がありました。子どもたちは生命力に溢れているので、教師や周りの見守りや声掛けで楽しい学校生活を取り戻せます。子どもは体でSOSを発信することがあります。何気ない会話に表情が見えますが、児童委員としてより教師と連携を図り、温かく見守ることが必要です。

再び、世の中が動き出しました。個性と小さな声を尊重する時代です。私たち民生委員・児童委員は地域住民の暮らしを見守る役目に誇りを持って活動していきます。最後に嬉しい情報をお伝えします。

とある大型店舗が食品や生活雑貨を移動販売車で週2回、住宅地域内を回るようになりました。定時、定位置に利用者が集まります。何より歩けない人のために自宅前にも停めています。美味しいお寿司は人気だそうです。こんな支援の形も広がると思います。

(川上 和江)



## 小鹿野町

### コロナ後の民生委員・児童委員活動

小鹿野町民児協においては、小鹿野町の新型コロナウイルスの陽性者が令和2年より増え始めたため、令和2年1月の新年会並びに新任委員の歓迎会が最後となり各部会及び各行事が制限されてきました。定例会も何回か中止となりました。その後は3密(密閉・密集・密接)を避けるため、人数を半数に午前・午後2回定例会を行い会長・副会長で対応してきました。約半数の方が新任委員です。部会・行事ができず戸惑ったことと思います。また、単身高齢者の見守りは弁当あるいは日持ちがするパンなどを希望者へ配食しています。

約3年半コロナ禍が経過しましたがウイルスは無くなりません、ただ減少傾向になってきています。新年度に入り、4月の定例会からは1回に全員参加の開催に戻りました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが第2類から第5類に引き下げられ、小鹿野町民児協でも各部会・行事におきまし

て、活動の輪を徐々に広げているところです。

5月12日民生委員・児童委員の日から、児童を対象とした全家庭に担当区域の民生委員・児童委員と主任児童委員で家庭訪問を実施しています。

学校関係の行事も新年度より復活いたしました。これからは新型コロナウイルスの感染対策を講じながら諸活動に頑張っていきたいと思えます。(黒澤 茂雄)

## 嵐山町

### コロナに負けない居場所づくり

嵐山町では、介護保険法の地域支援事業の1つである生活支援体制整備事業で、地域の皆さんのこいの場コミュニティサロン「むさし嵐丸庵」が、令和4年10月にオープンしました。空き家を活用したボランティア主体の居場所づくりであり、社会福祉協議会が実施する事業となります。この事業を計画した頃コロナ禍になってしまい、3密を避けなければならぬ状況でどのように事業を実施すればよいか、またどのようなこ



いの場が求められているのか検討するにあたり、地域の高齢者の状況を把握している民生委員・児童委員の視点から意見が聞きたいということ、社会福祉協議会と意見交換を行いました。その意見を活かしながら、地域の方が気軽に集まれる場所として「むさし嵐丸庵」がオープンしました。嵐山町

に引っ越して来たひとり暮らしの高齢者が、コロナ禍で人との関わりを持つ機会が少なかったため、民生委員・児童委員の声がけにより「むさし嵐丸庵」に参加。その後地域との交流にもつながったこともありました。人々が集えるようになった今、多くの方の居場所となっていくことと思えます。今後この取り組みを紹介しながら、地域のために活動していきたいと思えます。(笠谷 芳子)



嵐山町マスコットキャラクター むさし嵐丸



# 単位民児協活動紹介～単位民児協活動の活発化に向けて～

杉戸町民生委員児童委員協議会では、毎月1回の定例会の中で講師を招いての研修やビデオ視聴の研修を実施したり、民生委員・児童委員に関わりのある杉戸町や社会福祉協議会から様々な事業等の情報提供を受けたりして、活動の充実を図っています。また、年3回の定例会は、民生委員・児童委員が5地域に分かれて実施しています。各地域定例会では、各委員が受け持っているケースの事例を共有することで、各自活動の参考

## 民児協の運営

### 杉戸町

杉戸町民生委員児童委員協議会  
会長 大橋 登喜夫



〈地区の概況〉  
(令和5年1月1日現在)

【地区人口】 44,168人

【地区世帯数】 19,896世帯

【地区の特徴】

古くは日光街道の宿場町として栄えました。杉戸町内には旧日光街道沿いにある歴史を物語る史跡や古民家などかつての杉戸宿の面影が点在しています。また、町の約半分を農地が占めており、水と緑の自然に恵まれた彩と歴史ある町です。

【主な福祉課題】

人口の減少・世帯数の増加（世帯の小規模化）  
少子高齢化の進行、日常的な近所づきあいの希薄化

【単位民児協の構成】

民生委員・児童委員 64名

主任児童委員 3名

とされています。ひとりで課題を抱え込んでしまわないよう、民生委員・児童委員同士の支え合いを行っています。

### 重点活動

単位民児協の機能強化

### 取り組み方策

(きっかけ、留意事項など)

- コロナ禍において民生委員・児童委員活動が制限される中、訪問できなくなった世帯との関わりについて考えていく
- コロナ禍において感じている新任民生委員・児童委員の活



全員で民生委員・児童委員信条を唱和している様子

### 今後の抱負

新型コロナウイルス感染症の

- 動補助を行う
- 避難行動要支援者名簿の見直しや活用について検討する

### 取り組み内容

毎年12月に開催される障がい者週間記念事業の中で、「青空市（バザー）」の出店を行っております。委員の自宅に眠る食器やタオル、洗剤、乾物・缶詰・調味料、特技を活かした手作り手芸品、丹精込めて作った野菜等を出品します。来場された方々に毎年好評で、バザーの売上金については杉戸町社会福祉協議会へ寄付を行っています。



障がい者記念事業「青空市（バザー）」での出店の様子



毎年民生委員が参加している「キャンドルナイトinセウイ」

感染状況が落ち着き始めたことにより、制限されていた私たち民生委員・児童委員の活動も緩和されて積極的な活動が可能となります。経験が浅く民生委員・児童委員活動に不安がある新任委員を、民児協役員や先輩委員が支援できるような体制を築きながら、住民から求められることが多くなる委員活動をスムーズに行えるよう研修内容の充実や会議で意見交換など図っていきたいと思います。



# 共同募金運動に協力しましょう！

～共同募金への担当地区内での

個人・法人募金協力者の開拓に協力しましょう～

期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日

地域における各種福祉サービス活動及び施設等における設備充実のために、共同募金運動に対して大きな期待が寄せられています。

県民児協では、理事会(7月19日開催)及び評議員

会(7月25日開催)において、民生委員・児童委員が地域福祉の推進役として積極的に共同募金運動に協力することを目的に、次のような申し合わせをしましたので、特段のご高配をお願いいたします。

**令和5年度赤い羽根募金目標額 550,000,000円**

**(支会募金534,977,000円、本部扱募金15,023,000円)**

## 1 趣旨「個人・法人募金」協力者の開拓

各市町村共同募金支会における募金組織の活動方針に即応しつつ、各民生委員・児童委員が支会の奉仕者として、担当地域内において主として「個人・法人募金」にかかる新たな理解者・協力者の開拓推進に協力する。

## 2 目標及び方法

- (1) 県民児協の「申し合わせ」として、おおむね1人の民生委員・児童委員あたりに換算して、1万円以上の実績が上がることを目標として、理解者・協力者の開拓に努力するものとする。
- (2) この運動による実績は、全て各市町村共同募金支会の実績額に組み込まれるものであり、民児協としての特別枠をたてるものではないこと。
- (3) 実施にあたっては支会事務局と密接な連携のもとに同支会の策定する募金活動の要領に沿って実施するものとする。

## 3 その他

各市町村支会の募金(戸別募金・街頭募金・学校募金・バッジ、クオカード、図書カードを使用した職域募金並びに個人・法人募金)については、目標額の50%を超えた実績額が、地元市町村社協が行う地域福祉活動の財源として助成されることとなります。

<例>

### ●100%の場合

目標額5,000,000円・実績額5,000,000円

5,000,000円 { 50% = 2,500,000円  
50% = 2,500,000円 (市町村社協に助成)

### ●120%の場合

目標額5,000,000円・実績額6,000,000円

5,000,000円 { 50% = 2,500,000円  
50% = 2,500,000円 +  
1,000,000円 (目標超過額)  
= 3,500,000円 (市町村社協に助成)



フードバンクいるま(入間市)  
「フードパントリー活動に」



山鳩よりい(寄居町)  
「温冷配膳車の購入に」



埼玉県の国宝紹介 - 埼玉県内の国宝をシリーズで紹介いたします -

妻沼聖天山「歡喜院聖天堂」(かんぎいんしょうでんどう)

妻沼聖天山の本殿「歡喜院聖天堂」は、約840年前に建てられたとされます。火事などの被害で何度か再建され、現在の建物は宝暦0年(1760年)に完成しました。日光東照宮を彷彿とさせる本格的装飾建築で、その精巧さゆえに「埼玉日光」と称され、国宝に指定されています。

聖天堂は、奥殿と拝殿を中殿が結び付ける「権現造り」という建築様式を用いており、その三つの建築の各所に、多くの彫刻が施されています。

中でも、名工二人によつてそれぞれが異なる作風で彫られた一對の「鳳凰」、中国古来の文人における必須の教養や風流事を意味する四芸をモチーフとした「琴棋書画」、孔子・釈迦・老子が酸の酸っぱさに共感する様子から宗教や思想が異なっても真理は一つであることを意味する「三聖吸酸」は見どころとされています。



琴棋書画

文化庁認定100年フードの「妻沼のいなり寿司」!!

ご当地の名物を、熊谷市民児協の寺田治子会長に紹介していただきます。



二百数十年前の宝暦年間、妻沼地区が聖天様の門前町や利根川の宿場町として栄えた遠い昔から、このいなり寿司が、名物としてもてはやされてきました。古くから利根川沿いの妻沼郷では、光沢があり粒の揃った良質の米がとれました。妻沼のいなり寿司は、こうした風土と聖天信仰の中で生まれたふるさとの味覚です。

編集後記

コロナ感染症も収束の気配を見せつつあるなかで、日常の生活も徐々に旧に復している状況において、各地域の民生委員・児童委員活動も自ずと以前の姿を取り戻しつつあるようです。本誌も前号に引き続きコロナ後の取り組みについて、地域の実情に合わせた活動の様子を報告させていただきました。他地域の事例からその特色あるところを学び、今後の対応の在り方を考える絶好の機会になると思われます。

今後とも広報部会に忌憚のないご意見等をお待ちしております。  
(大島 幸雄)

▼174号は県民児協広報部会Cチームで編集、校正しました。

- |      |        |
|------|--------|
| 部会長  | 志子田 健一 |
| 副部会長 | 藤野 美佐子 |
| 副部会長 | 大島 幸雄  |
| 部会長  | 川上 和江  |
| 部会長  | 笠谷 芳子  |
| 部会長  | 黒澤 茂雄  |
| 部会長  | 大橋 登喜夫 |

「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65  
彩の国すこやかプラザ  
一般財団法人  
埼玉県民生委員・児童委員協議会 広報係宛

今後の予定

10月		
2日	ブロック別会長連絡会議(北部ブロック)	秩父市
5日	ブロック別会長連絡会議(西部ブロック)	飯能市
18日	主任児童委員部会(分科会1・2)	すこやかプラザ
19日	正副会長会議	すこやかプラザ
20日	ブロック別会長連絡会議(東部ブロック)	久喜市
11月		
1日	第181回理事会	すこやかプラザ
16日	正副会長会議	すこやかプラザ
20-22日	全国民生委員児童委員大会	広島県広島市

埼玉県民協だより No.174号  
令和5年10月1日発行

〈発行人〉 寺田治子 〈編集人〉 志子田健一  
〈発行所〉 一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会  
彩の国すこやかプラザ内

〒33000075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65  
TEL:048(822)1197 FAX:048(824)6586